

特別活動グループ研究会

グループ員：徳田 章栄	(神津小学校)	中村 元教	(神津小学校)
竹之熊 晶代	(神津小学校)	川畑 友梨	(神津小学校)
齊藤 香織	(神津小学校)	清水 愛子	(神津小学校)
有吉 克哲	(神津小学校)	寺澤 賢二	(神津小学校)
池田 雅人	(神津小学校)	城戸 和人	(神津小学校)
福山 香織	(桜台小学校)	松尾 紘幸	(桜台小学校)
今井 省悟	(笹原小学校)	安井 雅子	(荻野小学校)
中田 智継	(池尻小学校)	常田 義人	(池尻小学校)
安田 光	(池尻小学校)	山下 恒平	(池尻小学校)

担当指導主事：塩家 崇生

キーワード：学び合い 全員参加 合意形成 社会参画

1 研究テーマ

「学び合いを通じた特別活動」

2 研究内容

(1) 今からの時代に対応する特別活動のあり方を探る

① 学級会の運営方法について

話し合うための基礎を身につけていくために「司会」「副司会」「書記」「ノート書記」などの役割を児童全員に経験させる。また、特別活動を学級運営の基礎に置くことで、発言力がある児童の意見だけではなく、いろいろな児童の意見で話し合いが成立していく学級会活動を目指す。

② 議題設定の仕方

児童の発達段階に応じた設定、教師の介入場面の検証を行う。また、意欲的に話し合い活動に取り組むための具体的な手立ての検討を行う。(自分たちで議題を設定するために「議題箱」の設置や、前もって告知していくことが手立てになってくると考えられる。) など。

(2) よりよい考えとなるための合意形成のあり方を探る

① 3学期に神津小学校にて研究授業を行った。

学級会ノートの有無で児童の話し合いの質が変化するかどうかについて授業研究を行った。授業後の事後研究会では、学級会ノートのメリット・デメリットについて討議することができた。

② 三田市立武庫小学校 福井 博行校長の講義

児童が合意形成を行っていく上での、教員ができる手立てについて講演していただいた。その中で、どれだけ児童が議題に対して意欲的になれるかどうかで、話し合い活動としての質が変わってくることを学ぶことができた。

3 成果と課題

(1) 成果

① あいまいなまま取り組んできた特別活動の課題が少しずつだが、明らかになってきた。

② 授業実践や講義、授業研究に行った教諭の報告などで特別活動への理解を深める実践となった。

(2) 課題

どのように合意形成を行っていくのか、多数決で決まりやすい合意形成に対して、児童がどれだけ納得して行うことができるかという課題が残った。